

次期総合計画中間整理案

調査検討委員会

今年三月に議会内に設置された「新たな総合計画調査検討委員会」は、七月までに計8回の審議を重ね、七月二十日に検討委員会としての意見書を議長に提出しました。

わたしが委員の一人となつて、新たな総合計画調査検討委員会、県議会九月定例会に県から提出される予

定の次期総合計画について、取りまとめられた中間整理案の審議を行いました。

この過程のなかで、県民から寄せられたパブリックコメントや有識者らによる審議会からの意見も踏まえた意見書をまとめ、太田光秋議長にその報告を行い、中間整理案の見直しを要望いたしました。

この意見書には5項目の内容が盛り込まれ、太田光秋議長より内堀雅雄知事に対して、見直しに関する申し入れが行われます。

なお、次期総合計画の適用期間は来年度から9年間となる見通し。

【意見書の主な内容】

- ①県民が主役となり、県民の声に寄り添った計画とすること。
- ②県は、職員が意識的に取り組むための適切な指標を設定し、計画の着実な推進を図ること。
- ③県民に分かりやすい表現を用い、県民に広く伝わる工夫をすること。
- ④常に想定を超える事態が起きうることを念頭に、状況の変化に応じた見直しを適時適切に行うこと。
- ⑤計画推進のため、財源の確保と財政の健全化に努めること。

テレビ出演

七月十八日に放送されたテレビユー福島

番組「創生と進化へぶくしま県議者ポ

ト」に出演しました。放送の模様は検索サイトから「福島県議会 テレビ広報」でアクセスしてみてください。



企業環境委員会について教えてください



所管する部局は企画調整部及び生活環境部で、地方創生・人口減少対策、福島イノベーション・コースト構想の推進



県博・夏の企画展

先日、県立博物館で開催中の「あはひのクニ あやかし」展。ふくしま・東北の妖怪・幽霊・怪異」という企画展を鑑賞してきました。

注目すべきは、エヴァや銀魂、鬼滅などで活躍中の声優・石田彰さんが会津のあやかし話を朗読するというコーナーで、これを企画した職員はエライ!!個人的に褒めてあげたいと思ったほどです。

この夏、ぜひ妖怪展でひんやりとしてみてください。企画展は9月26日まで。

横断歩道を補修

飯寺地区市道（門3-223号）

六月初旬、飯寺地区にお住いの方からご相談がありました。

若松西バイパスからヨークベニマル飯寺店の交差点を力ワチ薬品の



早速、六月議会中に福島県警の担当者へ該当箇所を示し補修について検討を促しました。七月中旬、はつきり見える横断歩道になりました。

会津若松南店方面へ向かう市道にある、複数の横断歩道が消えかけているとのこと。

会津大学、県立医科大学

公立大学法人中期目標

七月六日、県議会は議会内に「福島県公立大学法人中期目標調査検討委員会」を設置しました。この委員会は十名の委員で構成され、このたび委員の一人に選出されました。

地元会津の期待を一身に受け、世界に飛躍する人材を輩出する独立行政法人会津大学、県内の地域医療を支える人材を育成する県立医科大学、この二つの大学が更に発展できるように、既に自主調査に着手しております。

インターシップ生を受け入れます

福大生5名 八月一日から九月三十日まで活動

毎年のこの時期、私の事務所ではインターシップの学生の受け入れを行っています。

役立てて欲しいと考えているためです。

ちなみに、このインターシッププログラムは「ドットJP」というNPO団体で、政治家と学生の橋渡しを担っています。そして、このプログラムを利用するための費用は、参加する学生も、そして受け入れる側の政治家も

支払います。タダじゃないんですよ。

本来の政治活動ではやってもらなくてもいいインターシップ生の受け入れではあります。私が、もし若い人の感性に刺激を受ける機会と捉え、学びの一つとして楽しんでいます。

さて、今回はどんな楽しい研修内容にしようか（笑）

地域消防団の重要性

わたしは現在、会津若松市消防団第十分団に所属しております。

平成15年の入団以来今年で19年目を数えました。

消防団の活動では、



先日、地域の防火水槽点検を実施しました

ポンプ操法大会や阿賀川水防訓練、県の防災訓練など様々な経験をさせていただきました。

甚大な被害を及ぼす災害がたび重なる昨今、益々その重要性が高まる消防団ですが、人口減少や核家族化、我々が営む社会生活のスタイルの変化などで、団員の確保が極めて厳しい状況を迎えております。

ものゝ心の猛きこころにくらぐれば
数にも入らぬ我が身ながらも



旧暦の一八六八年八月二十五日は、戊辰の役で娘子隊（婦女隊ともいう）を率いて新政府軍に立ち向かった中野竹子が亡くなった日です。このとき竹子が命を落とした地が、私の住む町にある柳橋（会津若松市神指町黒川）付近で、冒頭の詩は竹子の辞世の句です。

竹子は、会津藩士の中野平内（なかのひょうない）と妻（う）子の長女として、一八四七年に江戸の藩邸で生まれ幼少期を江戸で過ごします。そして時代が大きく動いた一八六八年三月、22歳になった竹子は生まれて初めて会津の地を踏み踏みました。その後、戊辰戦争が勃発。新政府軍は会津に向けて進軍します。同年八月二十三日、十六橋や戸ノ口などを突破した新政府軍は勢いをそのままに城下に攻め入りました。



頭章祭では地元の子らが演舞を奉納します

この時、竹子ら十数名が娘子隊を結成し、薙刀を振るい奮戦しますが、激戦のなかで竹子は敵の銃弾を受け斃れます。現在この場所には碑が建てられ、「中野竹子殉節之地」として地元の顕彰会の皆さんの手で大事に守られています。

8月予定の活動

【5日】第54回全会津商工観光推進大会

【8日】第八回ふくしま未来政治塾講座・卒業式

【10日】公立大学中期目標調査検討委員会

【24・25日】各種団体要望聴取会

【27日】政務調査会

【31日～9月2日】企画環境委員会調査活動

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

暑いと言えば、この原稿を書いている合間も熱戦が繰り広げられている東京オリンピック・パラリンピックもアツい連日、日本人選手の活躍が報じられるたびに、拳を握り締める私の体温も上昇しています。

「がんばれニッポン」